

科目名		授業形態	担当教員名	
保健体育 I		実技・講義	田中 靖人	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
講義ではスポーツの必要性や安全面を理解し、実践に活かせる態度を養成することや、スポーツに関するトピックより、スポーツへの興味や関心を高めさせたい。実技では様々な種目の実践を通し、スポーツの楽しさを味わったり、クラスメートとの親睦を図ることを目指したい。 また、障がい者スポーツについての知識を深め、様々な人々のスポーツへの関わりについても知識を深めたい。				
授業の到達目標				
スポーツをすることの意義を知り身体を動かすことの楽しさを味わうこと、スポーツに関わるニュース等について、興味関心を深めること、を目標とする。				
授業計画				
回	内容			
1	講義：スポーツ活動における我が国の現状			
2	実技：レクリエーション1			
3	実技：レクリエーション2			
4	実技：体力測定			
5	実技：球技（バスケットボール、ソフトバレーボール、フットサル等）1－1			
6	実技：球技1－2			
7	実技：球技1－3			
8	実技：球技1－4			
9	講義：メタボリックシンドローム			
10	実技：球技2－1			
11	実技：球技2－2			
12	実技：球技2－3			
13	講義：障がい者スポーツの意義と理念（障がい者スポーツ1）			
14	講義：コミュニケーションスキルの基礎（障がい者スポーツ2）			
15	講義：安全管理（障がい者スポーツ3）			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	進度や講義内容によっては、レポートに置き換えることがある。		
レポート				
小テスト				
平常点		欠席が多い場合は、課題点（定期試験）から減点することがある。		
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載	参考文献は定めないが、必要に応じて指示することがある。			
備考				
実技受講の際には、運動にふさわしい服装で臨み、装飾品等は危険防止のため外し、貴重品類は盗難防止のためグラウンドや講堂には持ってこないこと。けがや病気等で実技ができない場合は報告・相談すること。 天候や進度、履修者数によって実技種目や講義日を変更する場合があります。				